

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 阿久根由美子
日 時		平成26年12月11日(木曜日)		開 議 午後 4 時 33 分 閉 議 午後 4 時 51 分
出席委員		菱田 山本(広報部会長) 眞継(広聴部会長) 苗村 福井 中村 小島 中澤 堤		
事務局 出席者		藤村局長、山内次長、阿久根副課長		
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名	議員 名( )

## 会 議 の 概 要

16:33

〔菱田委員長開議〕

1 わがまちトーク総括について

<菱田委員長>

それぞれ意見を。

<中村委員>

テーマを絞り進めたことでうまく進行できた。

<中澤委員>

よい意見が出ていた。

<堤委員>

あのようなものだと思う。

<小島委員>

テーマを絞っていてもテーマ以外の意見が出た。本音でトークが出来ればよかった。

<福井委員>

自治会での開催は否定的だったが、今回のわがまちトークで必要性を感じた。テーマ選定が難しい。参加対象をどうするのか考えないといけない。

<苗村委員>

テーマ設定はよかった。もっと色々な意見が出るのかと思っていたが予想の範囲だった。広報広聴活動に肯定的な意見で、努力を認めてもらっており安心した。今年度は2回テーマをしぼり開催した。様々な市民の意見を聴くための一つの方向を示すものだと思う。

<山本副委員長>

次期につなぐものとしてテーマを絞り良かった。今行っていることを認めてもらったうえで更によりくなるよう色々な意見をもらい良かった。

<眞継副委員長>

普段来てもらえない人にも参加してもらえればよかった。参加者に聞きたいことを議員、委員からもっと発言してもらえればよかったとコーディネーターをしていて感じた。発言してもらえればもっと話が膨らんだように思う。

<菱田委員長>

テーマ以外の意見も制止はできないなか、コーディネーター役の眞継副委員長には

よくまとめてもらった。参加されていなかった方からコーディネーターは第三者でやる方法もあるとアドバイスされた。回を重ねることも大事だと思う。意見が言えなかったという参加者もいる。

テーマを絞る、絞らない、自治会でやる、どれも正しいと思う。手法、対象、議会の得るものが重要である。議会の求める場所、市民の求める場所で適宜議会が出向き開催できればよい。

<福井委員>

自治会での開催は駄目だと思っていたが、やってみてそうではないと思った。テーマをもっと絞り特化してもよいと思う。参加数ではなく本当の声をどう聴くのかである。広報広聴会議ではなく政策研究会でやるのが理想だと思う。

<菱田委員長>

当初6ブロックで開催しようとした狙いはそこにあった。

<中村委員>

市全体で幅広い参加を考えるのなら自治会単位の開催がよいと思う。

<菱田委員長>

今年は何故自治会に来ないのかという意見も聞いた。参加数だけが大切ではない。

<眞継副委員長。>

ベストの方法を見出すのは難しい。色々な方法をくじけずやるべきだと思う。

<菱田委員長>

わがまちトークは継続し、場所や時期に合わせてやるべきと総括する。後程文書でまとめる。

<明田議長>

評価されていた。篠町で開催したときは児童の事故後でありたくさんの意見をもらった。地域の課題があれば参加が増える。来期も続けることが大切である。

<事務局長>

良い方法は絞り切れない。模索しながら16期につなげてもらいたい。継続は力なりというように続けていただければと思う。次期もサポートさせていただく。

<事務局長次長>

いろいろな意見があると感じた。発言しなかった人の声も聞いてみたいと思った。

<事務局長副課長>

広聴部会で何度も時間をかけ、事務局の意見を聴いてもらいながら協議された。一度は案が駄目になり形を変えたが、実現しうれしく思った。

<菱田委員長>

任期の最後に当たり、委員には委員長として支えてもらったことに感謝する。

## 2 その他

なし

散会 16:51